

第164回運輸政策コロキウム～ワシントン・レポートXXII～ 米国における「空飛ぶクルマ」に関する政策の最新動向2025 ～取り組みの進展と今後の展望～

○日 時：2025年12月18日(木) 13:00～14:30

○会 場：オンライン配信（Zoomウェビナー）



○プログラム

【開会挨拶】

13:00～

奥田 哲也

一般財団法人運輸総合研究所 専務理事
ワシントン国際問題研究所長・アセアン・インド地域事務所長

【発表】

13:05～

釣 慎一郎

ワシントン国際問題研究所 研究員

【コメント】

鈴木 真二

東京大学 名誉教授
東京大学未来ビジョン研究センター 特任教授

【ディスカッション及び質疑応答】

14:05～

コーディネーター

屋井 鉄雄

一般財団法人運輸総合研究所 所長

登壇者

発表者及びコメンテーター

【総括・講評・閉会挨拶】

屋井 鉄雄

一般財団法人運輸総合研究所 所長

登壇者のご紹介

発表者

釣 慎一郎 ワシントン国際問題研究所 研究員

<略歴>

2003年に東京大学工学部航空宇宙工学科を卒業、2006年に東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻を修了し、同年に国土交通省に入省。入省後は、航空局における技術安全行政を中心として、自動車交通局での業務や米国の公共政策大学院への留学等を経験。2012年から2019年までの7年間、航空局航空機技術審査センターにおいて、国産初のジェット旅客機・スペースジェット（旧MRJ）の型式証明審査を担当。2019年以降は航空局乗員政策室及び安全政策課において、パイロット養成や運航基準に関する企画立案、制度改正を担当したほか、国際民間航空機関（ICAO）航空委員会の人材訓練・ライセンス制度パネルにアドバイザーとして参加。2023年4月より、ワシントン国際問題研究所において、航空の技術分野（特に航空機の型式証明、ドローンや空飛ぶクルマ等の次世代モビリティ等）に関する調査研究に従事。



コメンテーター

鈴木 真二 東京大学 名誉教授 東京大学未来ビジョン研究センター 特任教授

<略歴>

1977年東京大学工学部航空学科卒業、1979年同大学院工学系研究科修士課程修了。（株）豊田中央研究所を経て、1986年東京大学工学博士取得、同工学部助教授。1992年Purdue大学客員研究員を経て、1996年東京大学大学院教授。2019年現職および東京大学名誉教授。専門は、航空機力学、航空イノベーション。（一社）日本航空宇宙学会会長（第43期）、（一社）日本機械学会副会長（第95期）、International Council of Aeronautical Sciences (ICAS)会長（2019-20）、（一社）日本UAS産業振興協議会理事長（2014～）、（一社）航空イノベーション推進協議会代表理事（2018～）、福島ロボットテストフィールド所長（非常勤）（2019～）、日本学術会議連携会員（2014～）など。
主な著書、『落ちない飛行機への挑戦：航空機事故ゼロの未来へ』（化学同人、2014）、『飛行機物語—航空技術の歴史』（筑摩書房、2012）



コーディネーター

屋井 鉄雄 運輸総合研究所 所長 博士(工学)

<略歴>

1985年東京工業大学大学院理工学研究科土木工学専攻博士課程修了。東京工業大学工学部土木工学科助教授、教授、マサチューセッツ工科大学客員准教授、東京工業大学大学院総合理工学研究科教授、研究科長、同大学環境・社会理工学院教授、副学長を経て、2023年4月から同大学特命教授・名誉教授、2023年5月から東京医科歯科大学特任教授。2024年10月から東京科学大学特命教授。2025年4月から同大学特任教授。交通政策審議会委員、社会資本整備審議会臨時委員、アジア交通学会会長を歴任。専門分野：国土・都市計画環境交通工学。2023年6月より現職。

